

令和4年度第2回桜川市病院事業運営評価委員会
開催結果概要

■開催日

令和4年12月6日

■議題

(1) さくらがわ地域医療センター経営強化プラン（案）について

■結果概要

- 総務省が令和4年3月に策定した「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき作成した素案について協議した。
- 素案は軽微な修正があったため、事務局で修正の上、書面にて同意を得ることで了承された。
→令和4年12月13日付け桜健第300号により通知し、12月26日に修正箇所の同意を得た。
- 議案に対しての主な意見は、以下のとおり。

1. 委員会事前意見

項目	意見	回答
入院患者受入状況 地域医療構想関連	病床利用率が、一般と療養で大きく異なっている。当面の療養病床の需要は大きいと考えられるので、地域医療構想を踏まえ、長期的には両病床の比率を見直す必要があると思う。	一般病床は約60%で推移しているが、市内で急性期に対応できる病院は当院のみである。また、地域医療構想上における病床削減は、先般の再編統合で一定程度実施されたものとする。今後の医療需要に応じて、地域医療構想等を踏まえた病床機能の最適化を検討する。
経営状況	外来・入院患者数は減少傾向にあるが、患者単価はどちらも増加しており、経営努力が反映されていると考えられる。引き続き、単価向上に努めて頂きたい。	市民に身近な医療を提供できる体制を維持するため、継続して取り組む。
医師の働き方改革	医師の労働時間は他医療施設での勤務を含め、常勤先医療機関が把握する義務があるため、実態調査が必要と考える。	指定管理者において、他医療施設における勤務状況も把握していることを聞き取りで確認済み。

収支計画	病院の決算書等で示される具体的な医業収益の記載がないので、医業収益比率の記載があるものの、計画している経営内容が分からない。病院経営側の収支計画も示してほしい。	ご指摘のとおり、経営目標の比率に対する具体的な数値が不明のため、追記する。
------	--	---------------------------------------

2. 委員会当日意見

項目	意見	回答
P. 14 (4)医療機能等の指標に係る数値目標	病床利用率の目標値は、同規模の黒字病院の全国平均を見ると病床全体で70.2%とあるが、5年後に病床利用率80%は可能なのか。 また、外来患者数についても妥当なのか。	各目標設定については患者推計と経営実績をもとに指定管理者と協議して設定しているため、可能な範囲であると認識している。
P. 15 (6)一般会計負担の考え方 P. 18、19 桜川市病院事業会計収支計画	15ページと18、19ページの負担金の合計が一致するものと考えるが、そうならないのはなぜか。	資料内での整合性を確認し、修正する。
P. 17 (2)デジタル化の対応	マイナンバーカードによるオンライン資格確認システムを導入しているため、今後も積極的な利用を呼びかけていきたい。	—
その他	地元医師会と連携が取れているので、引き続き、地域医療に貢献していただきたい。	—
	救急搬送と救急受入の違いはなにか。	救急搬送は救急車による搬送で、救急受入は患者自身による来院(ウォークイン)のこと。
	専門用語などは注釈をつけて、分かりやすくした方がよい。	確認し、修正する。